

駒澤
大学

学園通信

KOMAZAWA UNIVERSITY NEWS No. 303

駒澤大学学園通信第303号
【2012年7月10日発行】
発行所：駒澤大学
〒154-8525
東京都世田谷区駒沢1-23-1
学園通信発行委員会事務局
TEL:03-3418-9828
<http://www.komazawa-u.ac.jp/>



未来に繋がる 自分へ繋げる

主な内容

通学路とキャンパスマナーについて
キャリアを考えるヒント
新任教員自己紹介
本学初の「産学連携協定」を締結
駒澤大学スポーツフェスティバル in 玉川
活躍する卒業生

16 11 6 5 3 2

通学路とキャンパスマナーについて



今年4月より、大学専用道路および北門の利用時間を延長し、午後2時以降は退構時に利用できるようになりました。歩行の様子を見ると、だいぶスムーズに流れています。しかしながら、相変わらず駒沢大学駅から大学へ向かう公道での通学中のマナーの悪さを指摘されます。「並列で歩いて邪魔になる」、「話に夢中になり、前方に注意をはらわず危険である」、「音楽を聴きながら歩行するために車やバイクの音に気づかないで、ぶつかりそうになる」など、社会的に見ればまだまだルールを守れていない学生も少なくありません。一部の学生の身勝手な行動が、全ての駒沢大学の学生のイメージを悪くしてしまっています。学生も含めて教職員も注目をされていることを忘れず、特に歩道が狭い駒沢大学駅周辺の通行の際には、相手の気持ちを思いやるのが大切です。

次にキャンパス内のマナーについて考えてみましょう。学生部前のピロティには教育後援会から寄贈されたテーブルと椅子が置かれ、天候のよい日の休み時間などは多くの学生が利用しています。しかし、使用した後は椅子は散乱、

テーブルも動かしたままで、食べ残しなどゴミも置きっぱなし。一般社会から見たら考えられない光景が夕方には見られてしまうのです。本当に大学生の行動なのか…残念ではありません。

喫煙問題についても全く同様で、指定された喫煙場所以外で平気で喫煙する学生は決して少なくありません。時折、教職員が清掃しながら注意していますが、その場、その時だけたばこを消しても、次の日にはまた同じ学生が平気で同じ場所で喫煙しているのです。

学内にある学生掲示板には、注意および禁止事項を掲載した『学内キャンパスマナー』を掲示しています。それでもマナーを守れない学生がいるのです。「場当たりの行動は、社会に出てからは通用しない」ということを理解し、今こそ改めるべきでしょう。

駒沢大学を良い大学にするのは、在學生、教職員です。より良い大学にするために周りを見て見ないふり、知らないふりはやめ、マナーを守り、相手の立場を考えた行動を心がけましょう。
(学生部)

一転語

金環日食はひと時の清涼剤であった。携帯電話に釘付けになっている都会人が空を見上げている光景に清々しさを感じた人も多いと思う。次回金環日食が都内で観察できるのは300年後というから、千載一遇の機会に巡りあえた現代人は幸せである ◆仏教でも一筆書きで輪を描くことがある。これは円相といって仏教の境地や真理を端的に表しており、悟りの造形化ともいわれる。12世紀、中国では禅の初学者の

ために「十牛図」という絵解本が作られた。この絵解きのクライマックスにも円相が表現されている。牛を見失った牧童が牛を追い求めるといった内容で、実は牧童と牛は一体であり、身と心の関係にあるという。修行では身と心が一体になることが肝要であり、自己（真理）の発見になると絵解きしている ◆興味深いのは真理を知った（円相）後にも話が続き、老僧が若者に手を差し伸べる描写がある。これは真理を知った者が、これから修行する者に指針を与える場面である。

大切なのは悟ることだけではなく、実は悟った後の実践こそが重要であることを「十牛図」では明示している ◆今年は大河ドラマで『平家物語』が放映されているが、この舞台でも金環日食が起こった。1183年の水島の合戦である。日中の異変に源氏は逃げ散ったが、日食を知っていた平家は優位に戦を進め勝利した。この時平家側は暦の作成を行っており、天体の動きを予見していたのである。知識を得た後にいかにそれを活かすか、その重要性が証明されるエピソードではある。

キャリアを考えるヒント

実際に存在した2人の卒業生の話です。

1人目。体育系課外活動に力を入れた学生生活。好きなことを好きなだけ頑張ることができた。全国上位の結果も手に入れた。親は近所で自分のことを自慢している様子だった。恥ずかしかったけれど、嬉しかった。学生生活に充実感を感じながら、3年生の正月に実家に帰った。正月にもかかわらず、父親のズボンの膝が擦り切れていた。「おやじ。ズボンぐらい買えよ。」しかし、父親は自分のズボンの穴に興味がない様子。返ってきた言葉は、「調子はどうだ?」。父親は、嬉しそうに自分の課外活動の結果について聞いてきた。実家が遠方で1人暮らしのため、経済的負担が他人より大きいことは自分なりに気にしていた。後から母親に聞いた話だが、父親は自分の応援に駆けつけるためにお小遣いを一生懸命貯金していたらしい。改めて、「今の自分」は家族やまわりの人に助けられて成長してきたことを実感した。その学生は、今度は自分が他人を支える存在になりたいと強く思い、地元企業から内定をもらった。

2人目。大学受験に敗北感を感じながら駒澤大学に入学。偏差値が高い大学に通う学生への劣等感は常に消えることはなかった。常に「負けたくない」とゼミ活動・課外活動等にも精力的に取り組んだ。しかし、偏差値への拘りが根強く、学生生活に充実感を感じたことはなかった。あるとき友人に言われた。「いつも偏差値ばかり!うるせえ!」ショックだった。偏差値を理由にして常に「今の自分」を否定して

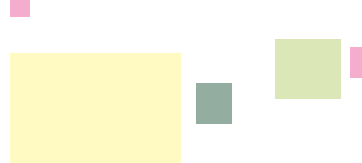
いた。「自分はダメな人間だ。」「いくら頑張っても無意味だ。」それだけではない。同じ駒大に通う友人まで、否定するような態度を取っていた。恥ずかしかった。それから必死に「今の自分」を考えた。冷静になると、劣等感をモチベーションにして、結果として充実した学生生活を送っていたことに気付いた。やがて、「今の自分」に誇りを感じられるようになった。就職活動では、様々な他大学の学生とつながりを持った。自分の学生生活に自信を持っていたため、劣等感を感じることはなかった。その学生は、企業にありのままの自分をアピールし、見事志望企業に内定をもらった。

キャリアを考える第一歩は、「今の自分」を理解することと言われています(自己理解・自己分析)。しかし、多くの学生は、就職活動を始めると「就職活動用の自分」を作り上げることに必死になります。「今の自分」は、どのような時に、どのように感じ、何を考え、どのように行動したのかを考え続けることで見えてきます。人は誰もが思い・感じ・考えて行動しています。「おなかですいた」「食事の時間だから」「おいしそうだから」食べ物を食します。「皆が持っているから」「大切な人と会話をしたいから」「おしゃれだから」携帯電話を持ちます。格好良く着飾ることなく、どのような些細なことでも「今の自分」の思い・感情・考えとしっかりと向き合うことが重要です。時には、思い出さないようにしている過去や、認めていない過去(失敗等)にも真剣に向き合うことが必要です。その中で、自分は何をしていきたいのか? 社会の

中で、「今の自分」がどのように生きていきたいのか? このようなことを考え続けることが重要とされています。

「今の自分」としっかりと向き合うことはとても困難で、面倒なことと感じます。たとえ実践しても、100%幸せなキャリアを歩める保障はありません。それにより、多くの学生が「今の自分」から目を背けています。また学生は多感で、不安定で、小さなことでも影響を受けやすい年齢でもあります。だからこそ、短い間にゼミ活動・課外活動等で驚くほど成長する学生も多く存在します。そのように常に変化する「今の自分」を考え続け、100%把握することは不可能なことかもしれません。人によっては「今の自分」を考えることに嫌気を起こします。そのような状況でも、左記学生のように自分自身と常に向き合い続けられる学生が、自分自身の「生きがい」「働きがい」を見つけていることができるのかもしれません。

また、個人のキャリアの8割は偶然によって形成されているという理論があります。左記2人は、実家に帰ったこと、友人の言葉を受け止めたことが、2人のキャリア形成につながりました。答えが見つからない「今の自分」を考え続けることと同時に、能動的に動き「偶然」をチャンスに変える広い心が重要なかもしれません。「犬も歩けば棒に当たる」動けば棒に当たる。ただし、動かなければ棒にも当たらない。「棒」が災いなのか、幸福なのかは関係なく、学生生活を通じてたくさんの「棒」に当たって感じ・考え・行動してください。それが、自然にキャリアにつながれば理想です。応援しています!



新任教員 自己紹介

水を題材に地域環境の 成り立ちを考える



文学部 講師
鈴木 秀和

文学部地理学科に着任しました鈴木秀和です。専門は「自然地理学」の一分野で、地球上の水のあり方や循環について取り扱う「水文学」という分野です。現地調査で得られた水質などのデータに基づき、実際には見ることができない地下水・温泉水の地域的な流れや、水質形成機構などについて研究しています。平成7年度に本学科を卒業後、筑波大学に進学し学位を取得した後は、研究活動に身を投じておりました。今後はこれまで培ってきた知識やスキルを活かし、野外での調査や観察結果から、地域環境の成り立ちについて総合的に捉える力を身に付けてもらえるような教育を実践していきたいと考えています。どうぞよろしくお願ひします。

外国史を身につける



文学部 講師
高田 良太

専門はイタリアとギリシアの中世史です。ブラジルで生まれて以来、あちこちを転々としてきまして、本学への着任前には京都に住んでおりました。こうして棲処をかえ、国内外の様々な文化に触れられたことが、研究者としての原点です。

さて話はかわりまして、昨今の情報技術の進歩のおかげで、私たちは外国についての大量の情報を手軽に入手できるようになりました。だからこそしかし、現地に立って感じることの重要性は今まで以上に高まっているともいえます。学生にも、単なる文字情報の記憶ではなく、五感を総動員した知的作業としての歴史学の醍醐味を体験してもらえよう、教育に力を尽くしていく所存です。

充実した学生生活を



文学部 助手
高橋 久子

文学部社会学科の助手として着任いたしました高橋久子と申します。社会福祉士・精神保健福祉士の実習サポートをさせていただきます。実習では利用者・ボランティア・スタッフの方々などの多くの出会いがあり、様々なことを感じ学ぶことができます。福祉実践を肌で感じられる貴重な体験です。充実した実習となるよう精一杯サポートしていきたいと思っております。私のいる第1研究館5階の社会福祉実習指導室はボランティア情報が集まる場所でもあります。皆さんに利用していただけたらと思っておりますので、興味のある方は気軽に声をかけてください。どうぞよろしくお願ひします。

使い勝手の良い研究室を



文学部 助手
佐藤 理晴

本年度より心理学科助手に着任いたしました、佐藤理晴と申します。昨年度までは非常勤講師として、主にコンピュータや実験機材を用いた実習科目を担当してまいりました。心理学科では座学で知識を学ぶだけでなく、実験・調査・検査の実習を通して、客観的なデータに基づいた人間研究の方法を学びます。実習科目担当の経験を生かし、器材や設備を有効に活用できる“使い勝手の良い”研究室の維持・管理を通して、皆さんの学習・研究を支援して行きたいと思ひます。ご存知の方もいらっしゃるかとは思ひますが、改めましてよろしくお願ひいたします。

長期的な視点で経済社会を学ぶ



経済学部 講師
浅田 進史

専門は19・20世紀のドイツ・東アジア経済史です。もともとドイツ経済史を専攻していましたが、19・20世紀に加速した世界経済の一体化が東アジア地域経済にどのような変化をもたらしたのかについて関心を持つようになりました。経済史の視点からドイツ・東アジア関係をテーマに、世界経済の動態と地域社会の変容の相互作用について研究しています。経済学と歴史学のいずれの性格もあわせもつ経済史は、長期的な視点から現在の経済社会を理解する学問です。近現代のヨーロッパとアジアのどちらにも関心を持つ方は、ぜひゼミに参加してみてください。

たくさん読みましょう



法学部 講師
三浦 康平

商法という分野が専門です。さて、法学部の存在意義は何でしょう。リーガルマインドなるものがウリであると言われてもその重要性が分かりにくいかもしれません。しかし4年間まじめに勉強すれば身につく能力があります。それは大量の情報を収集し、それを分析し、短くまとめて報告する能力です。

法律学は非常に多くの文章を読んで、それを一言でまとめることが要求される場面もあります。法学部で勉強することで、このような能力を身につけることが可能です。ただし演習のような少人数科目でないとは実現は難しいというのも現実ではあります。とりあえず多くの文章を読み書きすることが大事になります。

わかりやすい授業を目指します



経営学部 教授
桑原 正行

本年4月に経営学部教授として着任しました桑原正行です。出身は、中学まで函館、高校・大学は東京、大学院は神戸、最初の赴任先は四国の香川大学とずっと南下していましたが、17年ぶりに東京に戻ってきました。趣味・特技はスキーで、学生時代は競技スキーをやっていました。前任校では当初経済学部で学生に教えていましたが、ここ8年間は少人数の社会人を中心に財務会計に関する科目を教えていました。現在「財務会計論」を担当していて多くの学生が履修してくれていますが、久しぶりの大人数ですので、いろいろと試行錯誤しながら学生にわかりやすく興味をもてるような授業を目指してやっています。

どうぞよろしく



医療健康科学部 教授
森口 央基

皆さん、初めまして。どうぞよろしく申し上げます。この度駒澤大学に着任し、活気に満ちた学生さんとともに新たな研究生生活をスタートさせることができ、大変嬉しくまた幸せに感じています。私の専門はMRIで、特にその高速撮像法と画像再構成法が私の一貫した研究テーマです。私は米国のケースウエスタンリザーブ大学で9年間研究生生活を送り、帰国後はMRIの研究を続けながら、東邦大学、東海大学、平塚市民病院の放射線科で臨床業務にも携わってきました。MRIにおける基礎研究と臨床の経験を活かし、これからもさらに深みのある研究を行いたいと考えております。

授業ではフィードバックを重視



総合教育研究部 講師
三木 望

私の専門は応用言語学で、ライティング（議論文）における日本人英語学習者と英語母語話者の間の微妙な差異をコーパス言語学的手法と談話分析で研究しています。学習者だけでなく、英語母語話者の議論文の特徴を分析するために、英国高級紙の社説の文体も研究しています。駒澤大学ではライティングの授業実践として教師によるフィードバック及びピア・フィードバックをYeStudyで行っています。また、ライティング以外でも、多読という分野にも注目しています。授業では、学生の皆さんが、読み手の視点に立って、自分の意見を英語で伝えることができるように授業を工夫して参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

駆け抜けるように



総合教育研究部 講師
吉中 俊貴

山口県下関市出身。世紀末ウィーンの文学が専門です。森鷗外が多く翻訳したことで知られるシュニッツラーという作家について論文を書き、博士号を取得しました。学生のみなさんとはドイツ語のクラスで一緒にすることが多いかと思えます。しっかりと文法を習得していただく授業のなかにも、文学や音楽のななしを織りまぜてゆきたいし、ドイツ留学で体験してきたことも語りたい。ドイツ語は苦闘を強いてくるでしょう。でもその苦しみは、楽しさと、必ず両立します。90分があったという間だった、そんな集中力に満ちた駆け抜けるような授業をすることが、今の私のいちばんの目標です。よろしくお願ひします。

新入職員紹介

～お気軽に声をかけてください～



図書館
飯嶋 達也

教務部
田中 明英

学生部
田中 雄基

教務部
山本 典之

教務部
加藤 駿

教務部
鶴岡 あかね

入学センター
牧 知里

盂蘭盆会 有縁の人々に 思いをはせる

盂蘭盆会を省略して、お盆という。盂蘭盆とはullambana（ウランバナ、逆さづりの苦しみの意）、またはソグド語のurvan（ウルヴァン、靈魂の意）の音写語であるとある。この法会の由来は中国で成立した『盂蘭盆経』に出る。お釈迦さまの弟子である目連が修行により獲得した勝れた眼力で餓鬼道（食べ物に執着し、食べ物を粗末にした人が、死後生れる世界）を見ると、なんとそこに自分の母親が堕ちて、苦しんでいる。さっそくお釈迦さまに相談した。修行僧たちの3カ月の坐禅生活の満了の日に、みんなに食事を供養し、母親の菩提を弔うようにとのことであった。盛大な供養を行って、めでたく母親は餓鬼道から逃れたという。

中国成立の経典でもうひとつ『父母恩重経』がある。仏教の出家は家を捨てて、修行者になるから、家や孝を大切に考える儒教から仏教は両親や先祖をないがしろにすると批判された。しかし仏教徒は出家こそは大きな孝行であると主張して今日に至っている。日本の在家仏教的なあり方と大いに異なる。これら両経は仏教がいかに両親を大事にする教えであるかを世間に示そうとした努力の跡である。

わたしたちがご先祖さまのお墓にお参りするの善いことである。私自身は故郷の広島に墓参しないので、この日（7月盆と8月盆の地域差はあるが）あたりには、先祖さまに対しても、生きている縁者たちにも、また昨年の大震災で亡くなった方々にも何らかの形で思いを捧げる記念日にしたいと思う。



（仏教学部教授 吉津 宜英）

駒澤大学が昭和信用金庫と「産学連携協定」を締結

昭和信用金庫（本店：世田谷区）と駒澤大学は、6月8日（金）、深沢キャンパスにて「産学連携協力に関する協定書」を締結しました。

双方とも初の産学連携協定締結となります。人材育成・教育支援・中小企業支援に関する業務を相互に連携して実施することにより、主に世田谷地域経済の活性化を目的としています。本学学生のアイデアが中小企業経営や商店街の地域ブランド創出に繋がることなど、多くの期待が寄せられています。（広報課）



▲東京新聞
2012年6月9日(土曜日)より

◀日本経済新聞
2012年6月7日(木曜日)より

開校130周年・駒沢移転100年記念事業について

本学は明治15(1882)年に近代教育を行う大学として開校以来、平成24年10月15日に130周年を迎え、また、来年は大正2(1913)年に麻布日ヶ窪から駒沢の地に移転して100年となります。

これを記念して「駒澤大学開校130周年・駒沢移転100年」と銘打ち、周年事業の準備を進めています。

事業の内容は、

- ①開校130周年記念式典（平成24年10月15日）
- ②講義図書厚生棟（仮称）建設に向けた「駒澤大学開校130周年記念講義図書厚生棟（仮称）建設基金」の募金活動
- ③駒澤アーカイブ室（仮称）設置に向けた準備
- ④名刺や郵送物に貼付する記念シンボルマークシールの作成、配布
- ⑤学内風景が描かれた絵葉書と記念シンボルマークデザイン切手の作成
- ⑥本学の過去から未来への発信として記念DVDの作成
- ⑦同窓生の集いホームカミングデー
- ⑧ふれあい寄席
- ⑨地域との交流を深める夏祭り
- ⑩公開講座の中での特別講演・講座
- ⑪オータムフェスティバル
- ⑫記念シンポジウム（平成25年開催予定）
- ⑬同窓会並びに教育後援会の援助による学生食堂の全面リニューアル

となっており、いずれも各担当部署が企画を進めています。（募金事務室）

開校130周年・駒沢移転100年シンボルマーク決定!!

『開校130周年・駒沢移転100年シンボルマーク』は、スクールカラーである紫を基調に、お釈迦さまが悟りを開かれた所にあった樹木にちなみ「インド菩提樹の葉」、本学の前身である旃檀林に由来する「獅子図」をモチーフに取り入れ作成しました。

今年から来年にわたり本学の印刷物等に使用します。



平成24年度秋季公開講座のお知らせ

(申込み・問い合わせ先) 駒澤大学深沢校舎事務室 公開講座係 TEL.03-3702-9625

講座Ⅰ 智慧と慈悲—仏教の基本を考える—

開講時間 13:00 ~ 14:40

会場 深沢キャンパス120周年アカデミーホール

第1回	片山一良教授	10月6日(土)	成道と説法
第2回	片山一良教授	10月13日(土)	止と観
第3回	片山一良教授	10月20日(土)	無量の心
第4回	片山一良教授	10月27日(土)	自利と利他
第5回	池田練太郎教授	11月10日(土)	智慧の分析
第6回	池田練太郎教授	11月17日(土)	慈悲と方便
第7回	四津谷孝道教授	11月24日(土)	インド大乘仏教における慈悲
第8回	四津谷孝道教授	12月1日(土)	チベット仏教における慈悲

講座Ⅱ 楽しみながら続ける英語—独学の方法

開講時間 15:10 ~ 16:50

会場 深沢キャンパス120周年アカデミーホール

第1回	白鳥義博准教授	10月6日(土)	知的な英語をゆっくり音読する
第2回	福田一貴講師	10月13日(土)	英語の歴史を学ぶ
第3回	濱口真木非常勤講師	10月20日(土)	シャドウイングに挑戦する
第4回	濱口真木非常勤講師	10月27日(土)	英語の詩を味わう
第5回	平野桃子非常勤講師	11月10日(土)	物語を英語で読む
第6回	平野桃子非常勤講師	11月17日(土)	辞書の使い方を極める
第7回	三木望講師	11月24日(土)	多読・多聴に挑戦する
第8回	三木望講師	12月1日(土)	eラーニングを使いこなす

健康づくり教室 ジョギングコース・成人体操コース・ジュニア体操コース・武道（空手道）コース

第Ⅱ期 平成24年9月23日（日）～11月25日（日） 第Ⅲ期 平成25年1月13日（日）～3月10日（日）

※パンフレット配布時期 講座Ⅰ・Ⅱ・・・8月下旬予定 健康づくり教室・・・8月下旬予定



図書館推薦の本

～大学生になったら読んでほしい21冊



駒澤大学図書館には、現在、約118万冊の蔵書があります。大学入学後、図書館に足を運んでも、多くの書籍があって「何から読んでみようか?」と戸惑う人もいらっしゃるのではないのでしょうか。

今回は、各学部の先生方から新入生にお勧めしたい本をご推薦いただき、その中からさらに厳選した21冊をご紹介します。

図書館の推薦する図書 21冊

	書名	著者/編者	出版社	請求記号
1	仏典のこぼれ：さとりへの十二講	田上太秀 [著]	講談社	080/9-1995
2	万葉集：古典を読む	大岡信 [著]	岩波書店	080/27-127
3	源氏の女君	清水好子 [著]	塙書房	913.36/533
4	新・歩いて見よう東京	五百沢智也 [著]	岩波書店	291.3/392
5	いま、働くということ	大庭健 [著]	筑摩書房	366/266
6	友だち地獄：「空気を読む」世代のサバイバル	土井隆義 [著]	筑摩書房	367.6/212
7	哲学の謎	野矢茂樹 [著]	講談社	130.2/38
8	入門！論理学	野矢茂樹 [著]	中央公論社	080/11-1862
9	大人のための近現代史	三谷博、並木頼寿、月脚達彦 [編]	東京大学出版会	220/184-1
10	禅の言葉：ふつと心がかかる	永井政之 [監修]	永岡書店	188.84/1135
11	民主主義という不思議な仕組み	佐々木毅 [著]	筑摩書房	313.7/33
12	政治のしくみがわかる本	山口二郎 [著]	岩波書店	312/1276
13	就活のまえに：良い仕事、良い職場とは?	中沢孝夫 [著]	筑摩書房	366/274
14	20歳のときに知っておきたかったこと：スタンフォード大学集中講義	ティナ・シーリグ [著]；高遠裕子 [訳]	阪急コミュニケーションズ	159/251
15	医療人のための放射線防護学	高田純 [著]	医療科学社	492.4/231
16	「地球温暖化の予測は「正しい」か?不確かな未来に科学が挑む」	江守正多 [著]	化学同人	451.3/94
17	なぜ、あの会社は儲かるのか?	山田英夫 [著]	日本経済新聞出版社	336.9/1035
18	よくわかるメディア・スタディーズ	伊藤守 [編著]	ミネルヴァ書房	361.45/446
19	絶対貧困：世界最貧民の目線	石井光太 [著]	光文社	368/356
20	和歌とは何か	渡部泰明 [著]	岩波書店	080/15-1198
21	世界史再入門：歴史のながれと日本の位置を見直す	浜林正夫 [著]	講談社	080/9-1927

研究こぼれ話

トルファン幻想

仏教学部准教授 吉村 誠



中国の西北、タクラマカン沙漠の街トルファン。灼熱の乾燥盆地にありながら、水路には水があふれ、ブドウ畑が広がり、ポプラ並木が風に揺れる。ここは今も昔もシルクロードの旅人が憩うオアシスである。

627年、西天取經の旅に出た若き玄奘三蔵は、単身沙漠を渡り、当時高昌と呼ばれたこの地にたどり着いた。求法の熱意に打たれた高昌王は、4人の沙弥と金銀綾絹、馬30頭、人夫25人を提供。玄奘は30人の旅団の長となり高昌を後にした。途中、雪山の寒さで10人を失い、盗賊に襲われて無一文となるも、一行はインドに到着。大役を果たした高昌人たちのその後は不明である。644年、帰国をめざす玄奘は、タクラマカン沙漠の街ホータンから唐の皇帝に大量の仏典を持ち帰ったことを上表する。その文を長安に届けたのは「高昌小児」の「馬玄智」という少年であった。彼の来歴もまた不明である。

想像の翼を広げてみる。インドに着いた高昌人たちは玄奘の従者として現地にとどまった。インドの女性と結婚した者もいたであろう。玄奘の馬子は生まれた息子に玄智と名づける。玄奘から一字をもらったのである。快活な少年は旅に憧れ、玄奘が帰国する時、老いた父に代わって従者となった。旅を通じて成長した彼は、やがて玄奘の帰国を告げる使者に選ばれる…。玄奘の肖像画には傍らに異国風の従者を描くものがあるが、それは彼の姿なのかもしれない。

少年は父の故郷を見たであろうか。再び想像の翼をはばたかせてみよう。後世の物語で彼は「孫悟空」と呼ばれ、生まれ故郷の天竺へ旅立つ。父の故郷トルファンの火焰山で鉄扇公主と一戦交えるや雲に乗り、熱砂を撒いて沙漠の果てに消えていった…。

民主政治における熟慮と討議の重要性

法学部准教授 柳瀬 昇



東京都や大阪市などで、原子力発電所の稼働の是非をめぐる住民投票を実施するための条例制定を求める動きがありました。重要な問題だからこそ住民が直接賛否を投票で決めたいという気持ちは、理解できなくもありません。しかしながら、十分な情報に基づかず熟慮や討議を欠いたままで、はたして本当に妥当な結論が得られるのでしょうか。

公共的な事項は、いかに決定されるべきか——私は、これまで一貫して、民主的な決定のあり方について、憲法学の立場から研究してきました。私の立場は、簡単にいえば、決定に至る前に熟慮と討議という要素をもっと重視しようというものです。この見地から純粋な理論研究を進めるとともに、ここ数年は、民主的な討議の場を構成する社会実験を実施しています。

昨年は、科学研究費という国の補助金を獲得して、スタンフォード大学、慶應義塾大学、北海道大学の研究者らと共同で、2度の大型実験を実施しました。取り上げたテーマは、世代を超えて影響が及ぶ公的年金制度のあり方と、BSEの全頭検査を契機とした食の安全・安心の問題です。

今夏は、エネルギー・環境戦略の選択肢をめぐる国民的討議に取り組む予定です。原子力発電の安全性は非常に大きな論点ですが、その一方で、地球環境の保全を考えれば火力発電に依存はできませんし、経済的合理性を考慮すれば新エネルギーに過度な期待もできません。自分とは異なる立場の意見に耳を傾けたうえで、しっかりと検討していますか。

民主政治にとって大切なことは、十分な情報に基づく個人の意見形成です。そのためには、真摯な熟慮と冷静な討議が必要であると私は確信しています。

平成23年度決算について

【資金収支決算書】

収入の部

前年度繰越支払資金を除いた当年度収入は276億1,521万円で、主な項目は学生生徒等納付金収入164億1,394万円、入学検定料などの手数料収入11億3,717万円、寄付金収入5億2,080万円、補助金収入18億7,527万円、授業料・入学金等の前受金収入71億4,432万円、各種引当特定資産からの繰入れ等のその他の収入67億775万円となっています。

支出の部

次年度繰越支払資金を除いた当年度支出は261億587万円で、主な項目は人件費支出111億7,710万円、教育活動・研究活動・学生生活支援などの教育研究経費支出41億3,771万円、教育・研究を間接的に支援する管理経費支出8億2,423万円、日本私立学校振興・共済事業団、市中銀行等からの借入に対する借入金等返済支出27億4,696万円、駒澤大学1・6号館耐震改修工事費、本館蒸気ボイラー更新工事費、北門周辺整備工事費、教場マイク更新工事費、教場空調機工事費等の施設関係支出6億2,323万円、教育研究等に要する機器備品（駒澤大学KOMAnet関連器具費、学生食堂関連備品等）や図書などの設備関係支出4億3,626万円、各種引当特定資産への繰入れ等の資産運用支出59億5,027万円となっています。

【消費収支決算書】

帰属収入は、学生生徒等納付金や補助金など負債とならない収入で、211億677万円となりました。

この帰属収入から基本金組入額12億6,298万円を差し引いた消費収入は、198億4,378万円となりました。

一方、人件費・教育研究経費・資産処分差額などの消費支出は、184億8,288万円となりました。このうち、18億9,015万円は減価償却額です。

消費収入が消費支出を上回った結果、13億6,089万円の消費収入超過となり、累積の翌年度繰越消費支出超過額は313億4,182万円となりました。

【貸借対照表】

平成23年度末の資産の部合計は850億2,975万円となりました。そのうち有形固定資産は、駒澤大学1・6号館耐震改修工事等で増加したものの、減価償却により9億5,221万円減少しました。その他の固定資産は、長期有価証券を短期に振り替えたこと等により、2億5,127万円減少しました。また、流動資産については、現金預金の増加、長期有価証券からの振り替え等により18億1,366万円増加しました。よって、資産合計では前年度比6億1,017万円増加しました。

負債の部合計は281億1,929万円となりました。そのうち固定負債は、退職給与引当金については増加したものの、長期借入金、未払金等の減少により26億5,472万円減少しました。流動負債は、短期借入金・預り金は減少したものの、前受金の増加により6億4,102万円増加しました。よって、負債合計では前年度比20億1,370万円減少しました。

資産の部合計から負債の部合計を差し引いた正味財産は、569億1,046万円で、前年度比26億2,388万円増加しました。

基本金の部合計は、882億5,228万円で前年度比12億6,298万円増加しました。

消費収支差額の部合計は、翌年度繰越消費支出超過額が313億4,182万円となり、前年度比13億6,089万円減少しました。

学校法人 駒澤大学

平成23年度 資金収支決算書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

【収入の部】

(単位：千円)

科目	予算額	決算額	差異
学生生徒等納付金収入	16,367,709	16,413,943	△ 46,234
手数料収入	1,035,424	1,137,170	△ 101,746
寄付金収入	521,089	520,800	289
補助金収入	1,923,894	1,875,270	48,624
資産運用収入	176,104	181,468	△ 5,364
資産売却収入	0	21	△ 21
事業収入	163,420	169,185	△ 5,765
雑収入	786,787	790,493	△ 3,706
借入金等収入	54,000	51,800	2,200
前受金収入	6,234,425	7,144,323	△ 909,898
その他の収入	6,655,209	6,707,756	△ 52,547
資金収入調整勘定	△ 7,327,994	△ 7,377,014	49,020
前年度繰越支払資金	11,979,988	11,979,988	
収入の部合計	38,570,055	39,595,202	△ 1,025,147

【支出の部】

科目	予算額	決算額	差異
人件費支出	11,266,029	11,177,103	88,926
教育研究経費支出	4,539,121	4,137,711	401,410
管理経費支出	936,247	824,238	112,009
借入金等利息支出	310,574	310,571	3
借入金等返済支出	2,746,966	2,746,966	0
施設関係支出	1,000,253	600,239	400,014
設備関係支出	543,781	436,269	107,512
資産運用支出	5,950,282	5,950,279	3
その他の支出	537,464	579,295	△ 41,832
〔予備費〕	(0)		
〔予備費〕	239,000		239,000
資金支出調整勘定	△ 484,030	△ 656,796	172,766
次年度繰越支払資金	10,984,369	13,489,328	△ 2,504,959
支出の部合計	38,570,055	39,595,202	△ 1,025,147

(注)金額は、千円未満を四捨五入しているため、合計など数値が計算上一致しない場合があります。

学校法人 駒澤大学

平成23年度 消費収支決算書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

【消費収入の部】

(単位：千円)

科目	予算額	決算額	差異
学生生徒等納付金	16,367,709	16,413,943	△ 46,234
手数料	1,035,424	1,137,170	△ 101,746
寄付金	532,613	538,848	△ 6,235
補助金	1,923,894	1,875,270	48,624
資産運用収入	176,104	181,468	△ 5,364
資産売却差額	0	0	0
事業収入	163,420	169,185	△ 5,765
雑収入	787,019	790,887	△ 3,868
帰属収入合計	20,986,183	21,106,770	△ 120,587
基本金組入額合計	△ 1,889,600	△ 1,262,989	△ 626,611
消費収入の部合計	19,096,583	19,843,781	△ 747,198

【消費支出の部】

科目	予算額	決算額	差異
人件費	11,261,968	11,201,754	60,214
教育研究経費	6,253,661	5,850,022	403,639
管理経費	1,132,551	1,010,316	122,235
借入金等利息	310,574	310,571	3
資産処分差額	108,954	108,953	1
徴収不能引当金繰入額	1,269	1,269	0
〔予備費〕	(2,999)		
〔予備費〕	236,001		236,001
消費支出の部合計	19,304,978	18,482,885	822,093
当年度消費収入超過額	0	1,360,896	
当年度消費支出超過額	208,395	0	
前年度繰越消費支出超過額	32,702,716	32,702,716	
翌年度繰越消費支出超過額	32,911,111	31,341,820	

学校法人 駒澤大学

貸借対照表

平成24年3月31日現在

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	70,117,150	固定負債	14,827,269
有形固定資産	54,257,639	長期借入金	11,026,610
土地	17,457,717	退職給与引当金	3,740,238
建物	24,000,017	長期リース未払金	58,947
構築物	2,569,046	長期預り金	1,475
教育研究用機器備品	1,294,603	流動負債	13,292,021
その他の機器備品	64,257	短期借入金	2,665,162
図書	8,640,687	未払金	497,906
車輜	1	リース未払金	39,890
建設仮勘定	231,311	前受金	7,144,323
その他の固定資産	15,859,511	預り金	2,944,740
電話加入権	10,599	負債の部合計	28,119,290
意匠・商標登録権	5,851		
差入保証金	88,050		
有価証券	400,250		
長期貸付金	50,040		
退職給与引当特定資産	3,936,014		
減価償却引当特定資産	1,246,188		
建設準備引当特定資産	1,629,825		
将来計画引当特定資産	1,358,730		
奨学金引当特定資産	2,824		
講義図書厚生棟	5,500,000		
建設事業資産			
駒大高校校地	600,000		
拡張事業資産			
第3号基本金引当資産	1,022,340		
出資金	8,800		
流動資産	14,912,607		
現金預金	13,489,328		
未収入金	862,599		
貯蔵品	10,614		
短期貸付金	14,893		
有価証券	424,844		
前払金	109,561		
立替金	768		
資産の部合計	85,029,757	負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	85,029,757

平成24年度予算について

【資金収支予算書】

収入の部

前年度繰越支払資金を除いた当年度収入は206億7,190万円で、**前年度繰越支払資金**は109億8,436万円（前年度予算比9億9,561万円減）となっています。**学生生徒等納付金収入**は161億8,080万円（1億8,690万円減）。**手数料収入**は9億8,602万円（4,939万円減）。そのうち入学検定料収入は9億6,242万円計上しています。**寄付金収入**は曹洞宗務庁からの「仏教研修館建設寄付金」、教育後援会、同窓会、駒澤会、KUサポート、その他からの寄付金で2億1,287万円（3億821万円減）。国や地方公共団体からの**補助金収入**は17億5,510万円（1億6,878万円減）。受取利息や施設の貸出使用料等の**資産運用収入**は1億1,960万円（5,650万円減）。**資産売却収入**は、有価証券の売却収入で2億7,155万円（2億7,155万円増）。**事業収入**は2億2,067万円（5,725万円増）。**雑収入**は5億5,590万円（2億3,088万円減）。**借入金等収入**は5,400万円（増減なし）。翌年度の収入となる**前受金収入**は61億292万円（1億3,150万円減）。よって、収入の部合計は316億5,627万円です。

支出の部

次年度繰越支払資金を除いた当年度支出は215億5,013万円で、**次年度繰越支払資金**は101億614万円（8億7,822万円減）となっています。**人件費支出**は109億5,129万円（3億1,473万円減）。教育活動・研究活動・学生生活支援などの**教育研究経費支出**は46億1,912万円（8,000万円増）。教育・研究を間接的に支援する**管理経費支出**は8億7,007万円（6,617万円減）。**借入金等利息支出**は2億

6,293万円（4,763万円減）。日本私立学校振興・共済事業団等へ返済する**借入金等返済支出**は27億1,516万円（3,180万円減）。**施設関係支出**は9億2,214万円（7,810万円減）。主な内容は、駒澤大学1・9号館エレベーター設置工事費、駒澤大学図書館耐震補強工事費、本校キャンパス教場用マイク更新工事費等です。教育研究に要する機器備品や図書などの**設備関係支出**は7億536万円（1億6,157万円増）。主な内容は、駒澤大学1号館PC教場設備整備費、実験実習器具費及び教育図書費等です。**資産運用支出**は2億円（57億5,027万円減）。主な内容は、駒大高校の減価償却引当特定資産及び校地拡張事業資産への繰入支出です。**予備費**は2億3,700万円（200万円減）。よって、支出の部合計は316億5,627万円です。

【消費収支予算書】

帰属収入は、学生生徒等納付金や補助金など負債とならない収入で、200億4,020万円（9億4,597万円減）。**基本金組入額**は22億4,907万円（3億5,947万円増）。この帰属収入から基本金組入額を差し引いた**消費収入**は177億9,113万円（13億545万円減）となっています。

一方、**人件費や教育研究経費などの消費支出**は194億207万円（9,709万円増）となっています。このうち減価償却額は19億5,265万円です。

消費支出が消費収入を上回った結果、16億1,094万円の消費支出超過となり、累積の**翌年度繰越消費支出超過額**は345億2,205万円となります。

学校法人 駒澤大学
平成24年度 資金収支予算書
平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

【収入の部】

(単位：千円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
学生生徒等納付金収入	16,180,803	16,367,709	△186,906
手数料収入	986,028	1,035,424	△49,396
寄付金収入	212,874	521,089	△308,215
補助金収入	1,755,107	1,923,894	△168,787
資産運用収入	119,603	176,104	△56,501
資産売却収入	271,550	0	271,550
事業収入	220,671	163,420	57,251
雑収入	555,902	786,787	△230,885
借入金等収入	54,000	54,000	0
前受金収入	6,102,920	6,234,425	△131,505
その他の収入	1,035,290	6,655,209	△5,619,919
資金収入調整勘定	△6,822,842	△7,327,994	505,152
前年度繰越支払資金	10,984,369	11,979,988	△995,619
収入の部合計	31,656,275	38,570,055	△6,913,780

【支出の部】

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
人件費支出	10,951,292	11,266,029	△314,737
教育研究経費支出	4,619,125	4,539,121	80,004
管理経費支出	870,070	936,247	△66,177
借入金等利息支出	262,938	310,574	△47,636
借入金等返済支出	2,715,162	2,746,966	△31,804
施設関係支出	922,147	1,000,253	△78,106
設備関係支出	705,360	543,781	161,579
資産運用支出	200,004	5,950,282	△5,750,278
その他の支出	444,093	537,464	△93,371
〔予備費〕	237,000	239,000	△2,000
資金支出調整勘定	△377,057	△484,030	106,973
次年度繰越支払資金	10,106,141	10,984,369	△878,228
支出の部合計	31,656,275	38,570,055	△6,913,780

(注)金額は、千円未満を四捨五入しているため、合計など数値が計算上一致しない場合があります。

学校法人 駒澤大学
平成24年度 消費収支予算書
平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

【消費収入の部】

(単位：千円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
学生生徒等納付金	16,180,803	16,367,709	△186,906
手数料	986,028	1,035,424	△49,396
寄付金	222,091	532,613	△310,522
補助金	1,755,107	1,923,894	△168,787
資産運用収入	119,603	176,104	△56,501
事業収入	220,671	163,420	57,251
雑収入	555,902	787,019	△231,117
帰属収入合計	20,040,205	20,986,183	△945,978
基本金組入額合計	△2,249,072	△1,889,600	△359,472
消費収入の部合計	17,791,133	19,096,583	△1,305,450

【消費支出の部】

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
人件費	11,410,534	11,261,968	148,566
教育研究経費	6,372,166	6,253,661	118,505
管理経費	1,069,679	1,132,551	△62,872
借入金等利息	262,938	310,574	△47,636
資産処分差額	48,077	106,180	△58,103
徴収不能引当金繰入額	1,680	1,044	636
〔予備費〕	237,000	239,000	△2,000
消費支出の部合計	19,402,074	19,304,978	97,096
当年度消費支出超過額	1,610,941	208,395	
前年度繰越消費支出超過額	32,911,111	32,702,716	
翌年度繰越消費支出超過額	34,522,052	32,911,111	

中野ゼミは2年生から4年生の3学年、計50人の学生で構成されているゼミです。

私たちが研究するマーケティング・コミュニケーションは、かつてはマーケティングのプロモーション活動に該当していました。しかし、プロモーションだけが企業と消費者をつなぐコミュニケーションの役割を担っているわけではありません。商品のパッケージから店舗の雰囲気など、様々な要因によって消費者が商品に抱くイメージは大きく変化します。このようにプロモーション活動だけでなく、さまざまなマーケティング活動が消費者に対するコミュニケーション機能を持っています。

そこで私たちは、消費者に対してどのようなマーケティング手法を用いたら購買に至るのか、ブランドイメージを向上させることができるのか。これらの疑問を解決するために日々研究に励んでおります。

中野ゼミの大きな特徴は、学年の壁を越えて活発に議論が交わされるところです。先輩後輩関係なく、良いアイデアを作り出すために論理的に、時には感情的にゼミ生が主体となって日々意見交換を行っています。その背景には、指導し

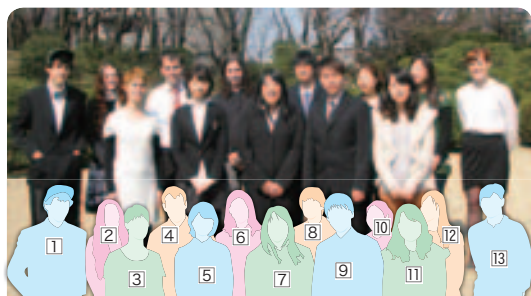
てくださる中野先生が大事にしている「沈黙は銀、雄弁は金」という言葉とその想いを、理解し、大切にしている50人のゼミ生がいるからではないでしょうか。

想い、信念、価値観、50人全員が違うからこそ個性的なアイデアが生まれ、議論が白熱していきます。グループワークが中心の生活において意見衝突は日常茶飯事です。だからこそ本発表を終えた後、毎年涙を流すゼミ生がいるのではないのでしょうか。

お互いに尊敬し、認め合える仲間と出逢える。そして仲間の大切さを改めて学ぶことのできる場所がこの中野ゼミの素晴らしいさだと思います。



交換留学生の横顔



- | | | | |
|----|--|-------------------------------------|--------------------------------------|
| 1 | | アーカンソー工芸大学(アメリカ) 商学科 | ラム スティーブン
Lam, Steven |
| 2 | | プロヴァンス大学(フランス) 国文学科 | グレビック オフェリー
Grebic, Ophelie |
| 3 | | クィーンズランド大学(オーストラリア)
グローバル・メディア学科 | デベロー グレース
Devereaux, Grace |
| 4 | | クィーンズランド大学(オーストラリア)
グローバル・メディア学科 | キルウィン マイケル
Kirwin, Michael |
| 5 | | 東国大学校(韓国) 経営学科 | 金 載允
Kim Jeon-ahn |
| 6 | | プロヴァンス大学(フランス) 歴史学科 | ムニエト マ
Meunier, Thomas |
| 7 | | 淡江大学(台湾) 国文学科 | 劉 佳融
Liu Kai-yung |
| 8 | | グリフィス大学(オーストラリア)
グローバル・メディア学科 | フーグ アンティンク アレン
Hoog Antink, Allen |
| 9 | | 淡江大学(台湾) 歴史学科 | 蔡 瑞廷
Tsai Rui-ting |
| 10 | | 東国大学校(韓国) 市場戦略学科 | 金 雪熙
Kim Seon-hee |
| 11 | | 華東師範大学(中国) 国文学科 | 周 昊彦
Zhou Haoyan |
| 12 | | 華東師範大学(中国) グローバル・メディア学科 | 宗 佳敏
Zong Kai-min |
| 13 | | クィーンズランド大学(オーストラリア)
グローバル・メディア学科 | ロ モナコ サマンサ
Lo Monaco, Samantha |

社会教育主事講座受講生による 地域交流イベント

わくわく列車! ~きずなづくりプロジェクト 開催

5月12日、13日に横浜市の小学校で第2回地域交流イベント『わくわく列車! ~きずなづくりプロジェクト~』を開催させていただきました。

このイベントは、昨年度の社会教育主事講座受講生の有志12人が立ち上げた実行委員会が中心となって企画・運営し、横浜市青葉台地区の幅広い世代の方々と楽しみながら交流することを目的としています。

約5カ月間、地域交流やきずなを意識し、さらに大学生の私たちにしかできないような企画を考え準備してきました。大学側世話人の総合教育研究部 萩原建次郎先生は私たちの自主性に任せ、意見を尊重してくださいました。

当日はたくさんの小学生や地域の方やスタッフの笑顔であふれる温かいイベントになりました。今回、なかなか交流できない小学生や中学生、地域の方々とかかわることができ、大変貴重な経験をさせていただきました。地域や駒大生ボランティアの方々のご協力のおかげで大成功に終わり感謝の気持ちでいっぱいです。(実行委員長 地理学科地域文化研究専攻3年 嶋原とも子)



参加者募集

駒澤大学 2012スポーツフェスティバルin玉川



駒澤大学体育会主催の「駒澤大学2012スポーツフェスティバルin玉川」を9月30日(日)午前9時30分から玉川キャンパスで開催いたします。

体育会40団体すべての思い、「スポーツを通じて地域交流・貢献を目指して」をテーマに掲げて3年目を迎えます。一年目そして二年目と少しずつ参加者も増え、「この時期には駒澤大学でスポーツ教室と見学会がある」という認識もされてきていると思います。

今年は、小・中学生だけではなく一般者の方にも参加してもらえる内容に変更し、より多くの方に参加していただけるように4月より動き始めています。また、例年と同様に世田谷区と駒澤大学教育後援会に後援していただき、喜多見地区自治会の皆さまにも広報活動で協力していただきます。三年目を迎えて感じる、人間関係の大切さありがたさなど、本当にこのイベントで学ぶことはたくさんあり、継続してこのイベントを続けていきたいと強く思います。

駒澤大学の学生・教員・職員の皆さまの参加もお願いいたします。駒澤大学全体で「楽しく」、「笑顔で」スポーツをしましょう。

(駒澤大学体育会委員長 ゴルフ部 南谷 桐帆)

「駒澤大学2012スポーツフェスティバルin玉川」

- 開催日 平成24年9月30日(日) ● 開催時間 午前9時30分～
- 場所 駒澤大学玉川キャンパス(東京都世田谷区宇奈根1-1-1)

- スポーツ教室開催団体(11団体)** ▶ サッカー部・陸上競技部・硬式野球部・体操競技部・卓球部
合気道部・女子合気道部・洋弓部
オーストラリアンフットボール部・軟式庭球部・硬式庭球部
- 練習見学開催団体(8団体)** ▶ ボクシング部・空手道部・柔道部・剣道部・相撲部
チアリーディング部・男子バレーボール部
アメリカンフットボール部
※男子バレーボール部はリーグ戦開催・アメリカンフットボール部もリーグ戦開催予定

申し込み期間 8月20日(月)～9月28日(金)
申し込み方法 FAX、E-mail、電話にて下記の内容を明記しお申し込みください

①参加者氏名(団体名) ②参加者年齢 学校名 学年 ③参加者保護者氏名(団体代表者名)
④電話番号 ⑤参加スポーツ教室名 ⑥参加希望人数
駒澤大学 学生部学生1係スポーツフェスティバル担当者

お問合せ・申し込み先 駒澤大学学生部スポーツフェスティバル担当者宛 10:00～16:00 ※土・日・祝祭日は除く
TEL.03-3418-9064 FAX.03-3418-9053 E-mail gakusei-1@komazawa-u.ac.jp

駒大の各キャンパスの周辺をみんなの手で美しく!!

「駒澤大学地域環境クリーン活動」～駒沢キャンパス、深沢キャンパス

参加者募集

駒沢キャンパスの学内及び深沢キャンパス周辺、駒澤大学周辺地域の清掃を行うために、「駒澤大学地域環境クリーン活動」を実施しています。この活動も10年目を迎え、学生・教職員が、駒澤大学周辺地域の環境美化活動を行っています。

通学時の通行マナーを向上させることはもとより、大学周辺をきれいにし、地域の方々と密接なつながりをもつことによって、よりよい学習環境を整えて行くことができるのです。

毎月の活動は、下記のとおりです。多くの方々の積極的な参加をお待ちしています。ご協力いただける学生のみなさんは、学生部(本部棟1階)にお問い合わせください。

月例駒澤大学地域環境クリーン活動実施日		
平成24年	7月13日(金)	9月20日(木)
	10月23日(火)	12月18日(火)
平成25年	1月24日(木)	2月22日(金)
	3月18日(月)	
※時間は毎回10:40～11:40		

実施中「体育会を中心に玉川キャンパスクリーン活動」～玉川キャンパス

平成23年4月より、駒澤大学体育会では、玉川キャンパスを使用している団体を中心に毎月1回玉川キャンパス内および周辺地域の清掃活動を行っています。駒澤大学本校も含めて玉川キャンパスも「駒澤大学タウン」として住民の方々と共に生活していけるようになることを最大の目標として、今後も継続していきます。

玉川キャンパスクリーン活動日
毎月最終土曜日13:30～

オープンキャンパス2012 7/15・16 8/4・5 9/16 開催

今年も恒例のオープンキャンパスが開催されます。高校生や受験生、そしてそのご家族などに広く駒澤大学を見ていただくという行事です。開催日は、7月15日(日)・16日(月・祝)、8月4日(土)・5(日)、9月16日(日)。当日は、大学の概要、入試の説明、学部・学科の紹介や模擬授業、個別相談に学内見学と多彩な催しが満載です。

駒澤大学のオープンキャンパスの特徴は、何ととっても、多くの在校生がいきいきと運営に参加していることです。会場の設営や案内でも活躍している学生や実験・実習の助手として、学生生活紹介や展示コ

ーナーの係員として、いろいろな場面で、駒大生たちの活躍が見られます。昨年の来場者アンケートで最も多かったのは、学生スタッフの明るさと親切さへの好評。スタッフの中には、自分が高校生のときに参加して感動したから、今度は自分が、と名のりをあげてくれた人もいます。ご来場のみなさんには、是非、そんな駒大生を見ていただきたい。駒大生の諸君には、どんどん運営に参加してほしい。今日の駒大生と明日の駒大生が出会うオープンキャンパス。ともかく、みなさん、一度、来てみてください! (入学センター所長 小川 隆)

本日に大切なことは、
会って伝えたい。

1>100
百は一度にしかず
OPEN CAMPUS

オープンキャンパス日程
7/15(日)・16(月・祝)・8/4(土)・5(日)・9/16(日)



駒澤大学鉄道研究会

「駒澤大学鉄道研究会」は1965(昭和40)年10月に創立し、今年で47周年を迎えた公認団体で、駒大の中でも歴史のあるサークルです。4年生6人、3年生5人、2年生8人、1年生12人の計31人が昼休みや学内行事を中心に日々活動しています。



オータムフェスティバル

最大のイベントが11月に行われる大学の「オータムフェスティバル」での展示です。建物がライトアップする鉄道模型レイアウトや鉄道グッズの展示、区間が自由に決められる「模擬定期券」の発行も行いました。昨年度と一昨年度に教場展示部門で『準優勝』を獲得しました。黄色いTシャツが目印です。

合宿

大学の長期休暇時行う合宿。夏と春に2泊3日を基本に行います。昨年度の夏合宿は長野にある駒澤大学・野尻寮で行い、模型レイアウトの修繕や建物の中に電飾を取り付ける作業をする班と、歴代の部誌「きてき」の整理(文献データ作成)をする班に分かれ、作業を中心とした合宿になりました。春合宿は大阪を中心とした関西地区に行く事になりました。現地では京都・神戸・和歌山の3グループに分けた班別行動で観光名所に行ったり、鉄道写真を撮ったり、ご当地グルメを味わうなど、楽しい合宿となりました。



部誌「きてき」



「鉄研」では原則年3回、「きてき」と呼ばれる部誌を無料で発行しています。うち2回は春と秋に発行し、「オータムフェスティバル」などで配布する他、1回は自己紹介号となります。毎回執筆・編集から製本作業まで手作りで、今年5月発行分で208号発行しており、「オータムフェスティバル」では最新の209号を配布する予定です。

新入生歓迎会&レク

毎年、新規入会生を対象として5月に新入生歓迎会を、6月頃に日帰りの新入生歓迎レクレーションを行っています。今年の新歓レクでは埼玉・鉄道博物館に行き、各自興味のある分野の展示を見学・体験しました。



この他必要に応じて部会や、新入生勧誘の「サークルフェスティバル」への出展、有志で参加する「模型走行会」、地理学科所属の部員を中心とした「巡検」、息抜きとして適宜親睦会や納会、送別会も実施しています。

HPも更新中！！
学生会館 201 号室



駒澤大学鉄道研究会

“駒澤大学鉄道研究会”で検索。



自転車部

「自転車競技」って知っていますか？ レース場を走る競輪とは違い、公道を走るロードレースのこと。現在、サイクリングやツーリングがブームと言われていますが、自転車競技もかなりホットです！ 今回のサークル訪問は、そんな自転車競技に熱い思いをかける自転車部に伺いました。

部員数は16人。ほとんどのメンバーが大学に入ってから自転車競技を始めています。活動日は特定しておらず、朝練や時間の空いたときに個人練習をしたり、また月1回以上のペースでレースに出場したりしています。自転車競技は公道で練習することができないため、レースに出ることで経験を積んでいくそうです。

自転車競技にはチーム戦と個人レースがあります。チーム戦は4人1組一列になり、並ぶ順番をローテーションしながら走っていきます。先頭は空気抵抗を受けて体力を消耗してしまうために、こうしてローテーションするそうです。一方、個人ロードレース

は、いかに体力を消耗せずに勝利できるかという駆け引きが必要になっていきます。頭と体をフルに使うんですね。

駒大自転車部は監督がいないため、練習は自分達で考えてやっています。もちろん、レースや合宿の手配も全て自分たちで行います。合宿はひたすら練習の毎日。一日5～6時間、150キロもの距離を走るそうですよ。この過酷な練習を、「辛いけれど辛くなければ意味がない。でも今まで行ったことないところに行ける楽しさもあるし、世界が広がって夢中になってしまおう」とメンバーは話します。

ハードなことは間違いなしの自転車競技。でも半端な気持ちじゃできない分、かっこいいです。100%打ち込みたい方、ぜひ自転車競技を始めてみませんか？

(学生記者グローバル・メディア・スタディーズ学部 グローバル・メディア学科3年 榎本 奈津美)



サークルの活動報告

卓球部 春季関東学生男子1部リーグ戦 加藤選手が優秀選手賞受賞

春季リーグ戦では、チームとして4勝3敗で4位、個人としては6勝を挙げることができ、優秀選手賞を受賞することができました。そのような賞を頂くことができたのは、応援してくださった方々や監督、コーチ、部員のみんなの支えがあったからだと思います。

今回のリーグ戦を振り返ると、どこの大学も実力が拮抗していたため接戦となる試合が多く、選手の実力以上にチームの力が勝敗を大きく左右したと考えています。その中でこのような成績を残せたのは、キャプテンがチームを盛り上げてくれて、部員全員が自分のすべきことを理解し、全力で取り組んだからだだと思います。

今年残っている団体戦はインカレと秋季リーグ戦があります。駒澤大学のチーム力を武器に優勝を目指し、日頃の練習に精進したいです。

(経済学部商学科3年 加藤 悠二)



空手道部 第48回東日本大学空手道選手権大会 準優勝！

今年度最初の試合である東日本大学空手道選手権大会に、新入生を含め部員一丸となって挑みました。

試合に至るまでは、部員同士がお互いに本気で格闘する稽古を積み重ねました。その結果、それぞれが技術だけではなく、精神面でも成長できたと感じています。

試合当日は、厳しい稽古を共に乗り越えた仲間達に背中を押してもらっているような気持ちになり、落ち着いて試合に臨むことができました。

結果は準優勝と昨年を越えることはできませんでしたが、今回の試合をきっかけに私達がやっている稽古に今まで以上の自信を持つことができました。今後も日本一を目指し、また駒澤大学空手道部の部員として誇りが持てるように日々精進していきます。

(女子主将 文学部歴史学科4年 三村 桃子)



サークルの活動予定

声援歓迎 みなさんの応援をお願いします

体育会

●ゴルフ部

- 第60回関東学生ゴルフ選手権 / 8月7日(火)～8月10日(金) / 鷹之台カントリー倶楽部
- 第66回日本学生ゴルフ選手権競技 / 8月21日(火)～8月24日(金) / 狭山ゴルフクラブ西・東コース
- 平成24年度関東大学秋季A・Bブロック対抗戦 / 9月19日(水)～9月20日(木) / 初穂カントリークラブ

●柔道部

- 東京学生柔道体重別選手権大会 / 9月2日(日) / 日本武道館
- 全日本学生柔道体重別選手権大会 / 9月29日(土)～9月30日(日) / 日本武道館

●剣道部

- 第61回関東学生優勝大会 / 9月9日(日) / 日本武道館
- 第38回関東学生女子優勝大会 / 9月15日(土) / 日本武道館

●準硬式野球部

- 東京都準硬式野球秋季リーグ戦 / 9月～10月 / 八王子市民球場他

●硬式野球部

- 東都大学野球秋季リーグ戦 / 9月～10月 / 明治神宮野球場

●軟式庭球部

- 平成24年度関東学生秋季リーグ戦 / 10月末定 / 千葉県白子町

●ボウリング部

- 第50回関東学生ボウリング選手権大会 / 8月20日(月)～8月22日(水) / 立川スターレーン

●硬式テニス部

- 関東大学テニス選手権大会 / 7月上旬～8月中旬 / 各大学テニスコート

●体操競技部

- 第66回全日本学生体操競技大会 / 8月22日(水)～8月24日(金) / 仙台市体育館

●チアリーディング部 BLUE JAYS

- ジャパンカップ2012チアリーディング日本選手権大会 / 8月24日(金)～8月26日(日) / 国立代々木競技場第一体育館

●弓道部

- 全日本学生弓道選手権大会 / 8月14日(火)～16日(木) / 日本ガイシスポーツプラザガイシホール 愛知県名古屋市中

●自転車部

- 全日本学生RCS第4戦白馬クリテリウム / 7月28日(土)～7月29日(日) / 長野県白馬町
- 文部科学大臣杯 第68回全日本大学対抗選手権自転車競技会 / 8月30日(木)～9月2日(日) / 鹿児島県 根占自転車競技場・錦江町

●ヨット部

- 秋季関東学生ヨット選手権大会 / 9月29日(土)～10月6日(土) / 神奈川県葉山沖

●陸上競技部

- 第24回出雲全日本大学選抜駅伝大会 / 10月8日(月) / 島根県出雲市

●相撲部

- 第38回東日本学生相撲個人体重別選手権大会 / 8月26日(日) / 靖国神社相撲場

- 東日本学生相撲リーグ戦 / 9月1日(土)～9月2日(日) / 靖国神社相撲場

●オーストラリアンフットボール部「マグバイズ」

- TOP League / 7月22日(日)・9月2日(日) / 生命の森第1グラウンド等

文化部

●吹奏楽部

- 東京都大学吹奏楽コンクール / 8月12日(日) / 練馬文化センター
- 東京都吹奏楽コンクール / 9月2日(日) / 府中の森芸術劇場

●合唱団

- ジョイントコンサート / 7月14日(土) / めぐるパーシモンホール



●前期科目定期試験・授業内試験日程

7月24日(火)～
7月28日(土)・30日(月)

学生証を
必ず持参のこと

1. 前期科目定期試験

試験は、授業と同じ曜日・時限で実施します。ただし、試験教場は授業教場とは異なるので教務部第1掲示板及びKONECOで確認し、指定された教場で受験してください。玉川校舎受講科目の試験も本校で実施します。

2. 「追試験受験願」の提出

前期科目の定期試験をやむを得ない理由で受験できなかった場合、「追試験受験願」の提出(証明書を添付)により、追試験を受験できます。

3. 前期科目追試験

(1) 追試験は所定の手続きを行った場合のみ受験できます。試験当日、学生証と「追試験受験願」を提示しないと受験できませんので注意してください。

(2) 定期試験を実施しない科目は、追試験も実施しません。

授業内試験

授業内試験とは、平常の授業中に担当教員によって行われるものです。担当教員より依頼のあった科目は、教務部第4掲示板及びKONECOに随時掲示します。

1. 試験関係行事の日程

1) 授業内試験	随時実施(教務部第4掲示板及びKONECO)
2) 前期科目定期試験	7月24日(火)～30日(月) ※日曜は除く
3) 追試験受験願提出締切	8月2日(木)17時まで 教務部⑥番窓口
4) 前期科目追試験	8月20日(月)～25日(土)
5) 前期科目の成績発表	8月23日(木) KONECOで公開
6) 成績調査願受付(前期科目)	8月23日(木)～30日(木)17時まで ※日曜は除く 教務部⑥番窓口
7) 前期科目追試験・集中授業成績発表	8月29日(水) KONECOで公開

2. 試験時間

前期科目定期試験・追試験

時限	筆記試験(60分間)	レポート提出(30分間)
1時限	9:30～10:30	9:30～10:00
2時限	11:00～12:00	11:00～11:30
3時限	13:00～14:00	13:00～13:30
4時限	14:40～15:40	14:40～15:10
5時限	16:20～17:20	16:20～16:50
6時限	18:10～19:10	18:10～18:40
7時限	19:40～20:40	19:40～20:10

3. 授業内試験

授業時間帯で実施

●夏季休業中の窓口事務の取り扱い

平成24年7月31日～9月15日

	日	月	火	水	木	金	土
7月			31	1	2	3	4
8月	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	31	1
9月	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15

1. 事務取扱日ー上記カレンダー参照ー

(1) 印 事務取扱日 (2) 印 全学休業日

2. 事務取扱について

- 教務部・学生部・キャリアセンター・国際センター事務室
9時～17時(12時30分～13時30分休止)
- 図書館 7月31日(火)～8月3日(金) 9時～17時
8月4日(土)・5日(日)10時～17時
8月6日(月)～9月15日(土) 閉館
閉館中の詳細は、図書館ホームページを参照。
- 経理部 9時～16時30分(12時30分～13時30分休止)
- 総合情報センター〔サポート窓口〕 9時～17時
〔自習室〕10時10分～16時50分
詳細は、総合情報センターホームページを参照。
- 保健管理センター 9時～17時(12時30分～13時30分休止)
- 学生相談室
取扱日、時間については学生相談室掲示板を参照。
- 夜間事務センター 16時～21時

3. 証明書等の発行および受付について

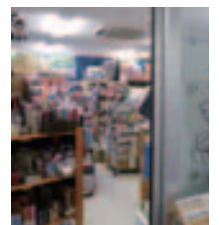
- 証明書自動発行機の稼働時間は、事務取扱日の9時～19時30分
なお、(□印)の8月7日(火)と9月12日(水)は9時～16時。
- 電話・郵便による各種証明書の申し込み・発行はできないので、夏季休業前にあらかじめ多めに証明書をを用意すること。
- 後期休学を希望する者は、8月23日(木)以降、教務部①番窓口にて休学願を受け取ること。(締切9月13日(木)期日厳守)
- 大学院生の証明書は、事務取扱日に教務部⑤番窓口で16時30分までに申し込むこと。

●夏季期間の食堂・売店営業時間

※8月8日(水)～19日(日)は全店休業

	通常営業最終日	夏季休業期間 ※土日除く		8月・9月オープンキャンパス開催日	
		7/31(火)～8/7(火)	8/20(月)～9/14(金)	8/4(土)・8/5(日)	9/16(日)
大会館学食(銀座スエヒロ)	7/30まで	休業		10:00～15:00	10:00～15:00
パオ	7/23まで (7/24～30までは8:00～17:00)	休業		8:00～16:00	8:00～16:00
セブン-イレブン 駒澤大学店	7/30まで	8:00～17:00	8:00～16:00	8:00～16:00	8:00～16:00
シンワネクスト	7/23まで (7/24(7/17・18舎)～30までは10:00～15:00)	10:00～15:00	10:00～15:00	10:00～16:00	10:00～16:00
オフィックス	7/30まで	10:00～15:00	10:00～15:00	10:00～16:00	10:00～16:00
駒大書房	7/23まで (7/24～30までは9:00～14:00)	9:00～12:00	9:00～12:00	休業	
カメラフォトアート	7/30まで	※7/31 営業 10:00～17:00	※9/10(月)～14(金) 営業 10:00～17:00	休業	10:00～16:00
紀伊國屋書店	7/30まで	休業		休業	10:00～16:00

※大会館の耐震工事に伴い、臨時休業となる場合があります。詳しくは、大学ホームページでご確認ください。



大学からのお知らせは、駒澤大学ウェブサイトへ



開校130周年記念

学食全面リニューアル!



4月に教育後援会と同窓会の協賛を得てリニューアルオープンした学食では、銀座スエヒロカフェテリアサービスが手掛ける豊富なメニューが楽しめます。日替わりメニューもあり、入口にある「Weekly Menu」で1週間分のメニューを確認することができます。食材の原産地も、メニューと共に公表されているので安心です。

営業時間 平日：8:00～19:00
土曜日：8:00～17:00
※2階は 11:00～14:00



入口に置いてあるメニューと原産地表



壁もレンガでユニークなデザインに一新

喫茶パオ



昔から変わらない八角形の建物が目印

1967年に開業し、今年45周年のパオ。人気No.1メニューは、5年程前に登場した明太スパ(300円)。卒業生に根強い人気があるのは、開業当時からあるミートスパ(270円)。

営業時間 平日：8:30～19:00
土曜日：8:30～17:00

玉川校舎

営業時間 平日：9:00～14:30



玉川校舎でも、銀座スエヒロのメニューが楽しめます。椅子も新しくなり、12時を過ぎると利用する人で賑わいます。

ハーベスト

300円弁当を移動販売。

営業時間 平日：お昼
※売り切れ次第終了



『ロンドンでは、最も光輝くメダルを狙います!』

ロンドンオリンピック ボクシングバンタム級日本代表 清水 聡さん



1986年岡山県生まれ。2009年経営学部卒業。大学時代には、国体（2回）、全日本選手権で優勝し、二度の世界選手権に出場。2008年には、北京オリンピックにフェザー級で出場し、2回戦敗退。同年、日本アマチュアボクシング連盟から年間優秀選手に選出される。2009年、自衛隊体育学校に入り、アマチュアボクサーとして活躍を続ける。今年4月にカザフスタンで開催されたアジア選手権にバンタム級で出場し、第3位。ロンドンオリンピックへの出場権を獲得した。

ボクシング日本代表として北京、ロンドンと2大会連続オリンピックに出場する清水選手。今回のオリンピックに懸ける意気込みと学生時代の思い出などを語っていただきました。

* * * * *

ロンドンオリンピック出場、おめでとうございます。

2大会連続出場が決まった瞬間はどのようなお気持ちでしたか？

ありがとうございます。すぐには、ロンドンオリンピック出場の実感が湧かなかったんです。アジア選手権の準決勝で私に勝ったインド代表のタバ選手の優勝によって、私の出場が決定したので。後になってジワジワとオリンピック出場を感じてきました。

ボクシングを始めたきっかけを教えてください。

小学生のころは、ピアノを習い、中学時代のクラブは、卓球部。意外でしょ（笑）。ボクシングと出会ったのは、中学3年生の時。当時、『ガチンコ!』というテレビ番組（TBS系列）の『ガチンコファイトクラブ』という企画でボクシングの魅力を感じ、父の友人が経営していたジムに通い始めました。

高校は、ボクシングの名門、岡山県の

関西高校へ進学したのですが、1年生の時、退部してしまったんです。でも、常にボクシングが頭の片隅にあって、物足りなさを感じる日々到我慢できず、クラブの先生にお

願ひして2年生の9月に再入部しました。3年生で、全国高校選抜やインターハイに出場しましたが、1回戦敗退。悔しさをバネに3か月程猛練習。その結果、秋季国体で準優勝。成長できたのは、私の高校、大学の先輩で、ボクシングの基礎から指導してくださった熊本道之さんとの出会いがあったからだと思います。

駒澤大学時代、どのような学生生活を送られていましたか

大学1年生の時は、特に辛かったです。練習は、朝と夕方。私は経営学科フレックスBに在籍していたので、練習後、練習場の掃除など1年生の仕事をして、二子玉川から自転車で通学していました。試合前の減量期間は、水を飲むことさえも我慢していたため、瀬田の坂道を登るのは、厳しかったですね。

学生生活で心残りなのは、4月に同級生からお花見の誘いがあったのですが、試合が近くて断ってばかり…クラブ以外の友だちとの思い出をもっと作りたかったなあと。ですが、今も試合前に応援のメールを送ってくれる友人もいて、学生時代の友人や人との出会いの大切さを感じています。

現在、自衛隊体育学校では、どのような活動をなさっているのですか？

ほとんどの時間をトレーニングや試合で過ごしています。アスリートとしての環境は、とても恵まれています。もちろん、訓練も行います。自衛官ですから。



（写真提供：自衛隊体育学校渉外広報室）

トップアスリートとしての心構えを教えてください

「ONとOFFの切り替え」、これにつきると思います。このことは、アスリートとしてだけではなく、多くの社会人や学生に共通するのではないのでしょうか。やるときはやる、休む時は休むことが大切です。休みの日は、ショッピングや食事に行って、ストレスをためないように、練習では集中力を極限に高めて取り組んでいます。

現役の学生たちにメッセージをお願いします

何事も続けること、保ち続けることが大切です。でも、ガツガツ必死にやるのではなく、こつこつと自分のペースで続けていくと、自分が思い描いていた結果が出せると思っています。私は、ボクシングを辞めたいと何度も思ったのですが、「辞めることは簡単。この壁を乗り越えよう」と続けてきた結果が、オリンピック出場へと繋がったのです。

ロンドンオリンピックへ臨む意気込みを聞かせてください

日本代表となってオリンピックに出場するからには、「金メダル」を狙います。

駒澤大学の学生、先生、職員、OBの方々にも大変お世話になっています。ロンドンで一番輝くメダルを獲って、みなさんの前でご報告できるよう、全力で戦ってきます。是非、ロンドンで、テレビの前での応援をよろしく願ひします。

ロンドンオリンピック 7/27～8/12（ボクシング競技開催期間 7/28～8/12）

（広報課）